

事業所における自己評価結果(公表)【放課後等デイサービス】

公表:令和6年2月26日

事業所名: 放課後等デイサービスQ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			仕切りを外し出来るだけ広く安全に過ごせる環境づくりをしている。また、必要に応じて1階と2階に分かれて活動を行い密を避ける工夫をしている。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○			利用人数に応じて職員を3~5名の配置で対応しているため、配置数は適切である。	施設外活動では、職員配置を増やし安全に活動を行えるようにしていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			階段には手すりや滑り止めを設置して安全に配慮している。	
業務 改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			朝会や会議を利用して利用者様の状況、業務内容について話し合いを行い、課題を出し改善に繋げている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				ホームページに記載している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		第三者による外部評価は行っていない。重要事項説明書に記載している。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的に社内研修の機会を設けて、虐待防止や子供たちの支援の在り方、福祉についての勉強会を実施している。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			定期的に個別支援会議を開き子供の成長やニーズに合わせて対応を考え、半年に一度の面談で計画書を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			子供たちが安全に楽しく活動が行えるように、職員全員で意見を出し合いながら活動立案を行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子供たちの年齢や嗜好、興味が湧くような活動を固定化しないように考え工夫している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日は、個別支援、公園遊び、室内レクを実施。休業日や長期休暇は生活訓練や制作活動お出かけ等、活動の内容の立案を含めて制作し、安全に活動できるよう取り組んでいる。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別・集団活動を適宜組み合わせながら計画書を立案している。活動内容も小学生と中学生に分け、それぞれの年齢に応じた活動も提供できるよう工夫している。	
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝朝会を行い、送迎・活動内容・利用者支援の共通理解が図れるように打ち合わせを行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			グループツールや連絡帳で、その日のうちに取り組んだ内容や気づいたことを職員間で共有し、共通理解が図れるようにしている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日の業務日誌に、活動内容や子供たちの様子を記載している。またご家族と連絡帳やメールでやり取りを行い、支援の検討や改善に努めている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			年2回以上、定期的にモニタリングを行い、計画内容の進捗情報を確認しながら支援の内容を見直し、検討・変更している。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			集団活動、遊びのルールなど公園遊びや室内レクを通して学べるように活動している。		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			主に児童発達支援管理責任者、個別支援担当職員が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校の送迎時に先生方とも情報共有・連絡を行い、保護者様への確認を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	主治医と直接関わる機会はない為、保護者様へのアプローチをして状況把握をしている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○		卒業後の移行先から、問い合わせがあれば情報共有する意向はあるが、現在移行先からの依頼はない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○			直接助言を受けることはないが、保護者様を介して支援に役立つ内容の助言を頂いている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		感染症のリスクも鑑みて、放課後児童クラブや児童館との交流する機会はない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○		協議会等への参加は現在行っていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時、メール、電話等を利用して利用者様の状況を伝えている。また、保護者の方と課題を解決できるように、都度話をして共通理解をしている。	
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			送迎時などに利用者様への接し方や声掛けの内容、対応について、保護者の方の参考になって頂けるようにお伝えしている。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時、重要事項説明書を元に支援内容(個別支援含む)利用者負担などについて説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			送迎時や面談を通して、メンタルも含めた利用者様の様子を聞き、事業所内での様子をお伝えし、助言できる場合は助言させて頂いている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		年に1回の保護者会の開催、親子参加型の運動会を実施しているがもっと交流の場を増やしていきたい。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				職員間で、同じことを繰り返さないようにどのように対応したらよいかを話し合い、共通理解をし、保護者の方に改善内容をお伝えしてご理解頂けるように対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			活動予定を1回/月で発行している。また、連絡帳やメールで必要な事項はお伝えしている。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○			PCにセキュリティソフトをインストール済。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			絵カードなど用いて支援を行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		機会がなく行えていない。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	感染症対応についてのマニュアルについてはメールや配布で周知して頂いている。	全てのマニュアルは策定しているが、保護者様に周知していただけていない。今後、配布や面談等で閲覧していただく機会を設けて周知していただけるよう検討していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			4回/年避難訓練を活動に取り入れている。その中で消防の方との火災の訓練も取り入れている。	火災、地震を中心とした避難訓練を年4回(土曜日)実施しております。今後は平日にも避難訓練を行い、6回/年で実施できるようにしていく予定。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			1回/年鹿児島市が主催する虐待防止の研修に参加している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			現在、身体拘束を必要とする利用者様はいらっしゃいません。必要な場合は、保護者様にご理解を頂き、身体拘束の同意書を頂いたうえで個別支援計画書にも記載するようにしている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○		現在、医師の指示に基づく食物アレルギーのある利用者様はいらっしゃいません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)